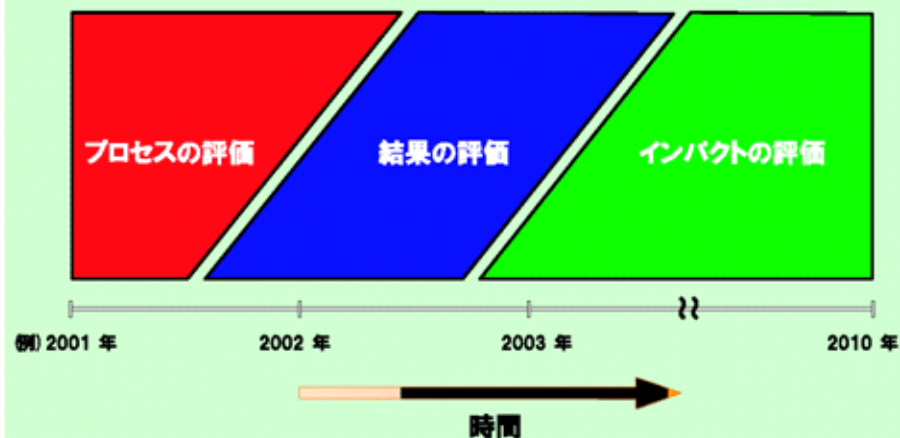


## 禁煙サポート事業の評価の流れ



© 厚生労働科学・中村道 2002

### 禁煙サポート事業の評価の流れ

- 一般に健康教育事業やプログラムを評価する際の時間的な流れとしては、まずプロセスの評価、続いて結果の評価、さらに長期的な効果評価としてのインパクトの評価がある。
- インパクトの評価を行うには時間を要するので、禁煙サポートの事業を評価するにあたっては、少なくともプロセス評価と結果の評価を行うことが必要である。

## 禁煙サポート事業の評価方法

評価の種類	評価の目的	評価の指標
プロセスの評価	禁煙サポートが手順を踏んで実施されているか、指導者や喫煙者にどのように受け入れられているかなどを調べる	禁煙サポートの実施状況や指導者や喫煙者の感想
結果の評価	実施した禁煙サポートが結果として喫煙者のタバコ離れや動機づけにどの程度効果があったかを調べる	禁煙率や喫煙ステージの変化など
インパクトの評価	実施した禁煙サポートが喫煙者の健康増進や疾病の罹患や死亡にどの程度影響を及ぼしたかを調べる	欠勤率や医療費、疾病の罹患率や死亡率

© 厚生労働科学・中村道 2002

### 禁煙サポート事業の評価方法

- 1. プロセスの評価
  - ・禁煙サポート事業が、手順を踏んで予定通りに実施されているか、指導者や喫煙者にどのように受け入れられているかなどについて調べ、今回または次回の事業の実施方法の変更や改良に役立てる。
  - ・禁煙サポート事業の申し込み状況や実施状況、指導者や喫煙者の感想や反応、満足度などが評価の指標となる。
- 2. 結果の評価
  - ・実施した禁煙サポートが結果として、喫煙者のタバコ離れや動機づけにどの程度貢献したかを調べるものである。
  - ・事業の参加者における禁煙率、喫煙者の喫煙ステージの変化などが評価の指標となる。
- 3. インパクトの評価
  - ・禁煙サポート事業を複数年にわたって地域や職域の多くの喫煙者に対して実施した結果、喫煙者の健康増進や罹患率、死亡率にどの程度影響を及ぼしたか、さらにどの程度、医療費の減少につながったかなどについて、長期にわたって調べるものである。
  - ・欠勤率や医療費の推移、疾病の罹患率や死亡率の推移などが評価の指標となる。